

平成 30 年度外郭団体 点検評価の結果

1 目的

全ての外郭団体の必要性や経営の健全性等について、点検評価を実施し、改善に取り組むとともに、評価の結果を公表している。

点検評価結果については、行政経営推進委員会による外部評価を実施し、評価の客観性の確保を図るとともに、経営の改善等につなげていく。

2 点検評価の内容

- ・ 外郭団体 27 団体を対象に実施
(県出資 25%未満の公益法人等 (25 団体) も外郭団体に準じた点検評価を実施)
- ・ 今年度より「事業成果」、「団体の必要性」、「経営の健全性」の点検を重点化
- ・ 新たな点検項目に「団体改革の進捗状況」を追加し、行財政改革推進委員会の意見に対する各団体の対応状況を確認

(団体改革の進捗状況)

- ・ 過去の行財政改革推進委員会の意見に対し、約 8 割の項目が対応済み、残りの 2 割についても継続的に対応している
- ・ 今後も、委員会意見への対応状況を確認し、団体改革を推進する

対応状況 (県所管課による評価)

区分	項目数	全般(経営健全性に係るもの以外)		経営健全性に係るもの	
		項目数	内容	項目数	内容
対応済	40 (78.4%)	33	<ul style="list-style-type: none"> ・市町の公営住宅管理の受託 (静岡県住宅供給公社) ・関連団体との事業連携 (静岡県農業振興公社、 静岡県農業振興基金協会) ほか 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・有料道路事業の収支改善 (静岡県道路公社) ・寄付金収入の増加 (静岡県腎臓バンク) ほか
対応中	11 (21.6%)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・土地取得業務の一元化 (静岡県土地開発公社) ・勤労者福祉の増進に寄与する事業内容を示す (静岡県労働福祉事業協会) ・施設管理主体の団体からの脱却 ・外部評価の実施 (静岡県青少年会館) ・県民ニーズを踏まえた事業実施 (静岡県暴力追放運動推進センター) 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・資金運用益の確保 (静岡県国際交流協会) ・コスト意識を持った事業展開 (静岡県舞台芸術センター) ・自主財源の確保 (しずおか健康長寿財団) ・財務内容の健全化 (静岡県生活衛生営業指導センター、 静岡県労働福祉事業協会)
計	51	39		12	

3 点検結果

(1) 事業成果

※30年度から事業を開始した「(一財)ふじのくに医療城下町推進機構」を除く26団体について評価

- ① 団体の事業成果を示す指標と目標値を設定し、その達成状況を定量的に評価
⇒26団体92指標のうち、約6割が目標を達成
- ② ①の指標の達成状況を踏まえ、団体の使命・役割の達成度を総括的に評価
⇒約7割の団体が「良好」と評価し、団体の使命を果たしている一方で、残りの約3割は改善に向けた取組が必要と評価

① 事業成果指標の目標達成状況

A：目標達成	目標未達成	
	B：目標値との差20%以内	C：目標値との差20%超
53指標(57.6%)	29指標(31.5%)	10指標(10.9%)

② 事業成果の総括評価（県所管課による評価）

良好	改善を要する	抜本的な改革が必要
18団体(69.2%)	7団体(26.9%)	1団体(3.8%)



抜本的な改革が必要と評価した団体：(一財)静岡県労働福祉事業協会

①事業成果指標の達成状況				②事業成果の総括評価
指標の名称	目標	実績	評価	【抜本的な改革が必要】 前年度と比較して ・会議・研修人員は増加 ・宿泊、休憩人員は減少
おおとり荘宿泊人員	20,000人	14,095人	C	
おおとり荘会議・研修人員	5,000人	4,558人	B	
おおとり荘休憩人員	3,500人	2,863人	B	

(2) 団体の必要性

- ・ 団体の設立目的や果たすべき使命・役割、社会経済環境の変化、他団体との役割分担、(1)の事業成果などを勘案して「団体の必要性」を総括的に評価
- ・ 団体の専門性や有効性の観点から、多くの団体が必要性が有ると評価する一方で、2団体については改善・改革が必要と評価

団体の必要性の評価（県所管課による評価）

良好	改善を要する	抜本的な改革が必要
25団体(92.6%)	1団体(3.7%) ・(一財)静岡県労働福祉事業協会	1団体(3.7%) ・(一財)静岡県青少年会館

(一財)静岡県青少年会館の評価理由

- ・ 貸館事業、研修会、調査研究等の事業が以前と比べ活発に実施されていない
- ・ 青少年を取り巻く環境変化を踏まえ、青少年団体の活動拠点としての会館の必要性と、法人活動の有効性の検証が必要 ⇒外部評価委員会にて検証予定

(3) 経営の健全性

ア 健全性指標の評価

経営健全性を示す指標(単年度収支、経常損益、剰余金)について定量的に評価

- ① 収支(単年度収支・経常損益)については、12団体(4割強)が赤字
一方、資産については、9割強の団体が剰余金を保有
- ② 前年度と比較して経常損益が赤字の団体は3団体減少
(6団体が赤字から黒字に転化、3団体が黒字から赤字に転化)
- ③ 経常損益が特別な要因無く赤字となった団体においては、財産運用益の減少が大きく影響しており、更なる収益確保や経費節減の取組が必要

① 健全性指標の評価

指標	A：プラス (黒字)	マイナス(赤字)		
			B：特別要因有	C：特別要因無
単年度収支	15 団体(55.6%)	12 団体(44.4%)	6 団体	6 団体
経常損益	15 団体(55.6%)	12 団体(44.4%)	5 団体	7 団体
剰余金	25 団体(92.6%)	2 団体(7.4%)	0 団体	2 団体

② 経常損益の状況(前年度との比較)

(単位：団体)

H28 経常損益 (H29 から事業開始した2団体を除く)		H29 経常損益			備 考
		黒字	赤字		
			特別要因有	特別要因無	
黒字	10	7	<u>1</u>	<u>a</u> 2	黒字→赤字化：3 団体
赤字(特別要因有)	10	<u>4</u>	4	<u>b</u> 2	赤字→黒字化：4 団体
赤字(特別要因無)	5	<u>2</u>	0	<u>c</u> 3	赤字→黒字化：2 団体
計	25	13	5	7	赤字 H28:15 団体→H29:12 団体

③ 経常損益が特別な要因無く赤字の団体

(単位：千円)

団体名	H28	H29	主な赤字の要因(H29)
<u>a</u> (公財)静岡県漁業振興基金	4,199	▲6,058	財産運用益の減
(公財)静岡県暴力追放運動推進センター	761	▲1,012	財産運用益の減
<u>b</u> (公財)静岡県国際交流協会	▲409	▲2,818	非常勤職員の正社員化、財産運用益の減
(一財)静岡県青少年会館	▲2,155	▲4,121	財産運用益の減、貸館収入の減
(公財)静岡県生活衛生営業指導センター	▲1,372	▲1,105	建物等の減価償却費(1,618千円)
<u>c</u> (一財)静岡県労働福祉事業協会	▲102,638	▲59,291	おおとり荘の事業収入の減少
天竜浜名湖鉄道(株)	▲156,993	▲157,334	老朽化した鉄道施設の維持修繕費

(参考)経常損益が黒字化した団体の取組事例

(単位：千円)

団体名	経常損益		改善の取組事例
(公財)静岡県障害者スポーツ協会	H28	▲3,871	・障害者スポーツ大会の協賛企業の拡大 ・寄附付自動販売機の設置
	H29	2,551	
(公社)静岡県農業振興公社	H28	▲2,011	・市町や関係団体等との連携による農地貸借・売買事業の拡大
	H29	38	

イ 経営の健全性の総括評価

アの健全性指標の状況を踏まえ、団体の経営の健全性について総括評価

- ① 半数以上の団体が「良好」、約4割の団体が「改善を要する」と評価
- ② 経常損益が特別な要因無く赤字となっている団体のうち、十分な剰余金を有していない2団体は「抜本的な改革が必要」と評価
- ⇒2団体とも一定の正味財産を有しているため、当面の団体運営に支障は無いものの、安定的・継続的な事業実施のためには、早急な経営の健全化が必要

① 経営の健全性の総括評価（県所管課による評価）

良好	改善を要する	抜本的な改革が必要
15 団体 (55.6%)	10 団体 (37.0%)	2 団体 (7.4%)

② 経常損益が特別な要因無く赤字となった団体の総括評価（単位：千円）

団体名	単年度収支	経常損益	剰余金	総括評価
(公財) 静岡県漁業振興基金	▲6,058	▲6,058	58,567	改善を要する
(公財) 静岡県暴力追放運動推進センター	▲1,012	▲1,012	22,147	改善を要する
(公財) 静岡県国際交流協会	▲2,818	▲2,818	46,753	改善を要する
(一財) 静岡県青少年会館	▲4,682	▲4,121	24	抜本的な改革が必要
(公財) 静岡県生活衛生営業指導センター	▲1,105	▲1,105	10,499	改善を要する
(一財) 静岡県労働福祉事業協会	▲26,277	▲59,291	▲389,984	抜本的な改革が必要
天竜浜名湖鉄道(株)	▲3,433	▲157,334	76,075	改善を要する

抜本的な改革が必要な2団体の財務状況（詳細）（単位：千円）

団体名	過去3年間の収支の状況				正味財産(H29)	
	区分	H27	H28	H29		剰余金
(一財) 静岡県 青少年会館	単年度収支	▲2,022	▲2,989	▲4,682	268,133	24
	経常損益	▲1,842	▲2,155	▲4,121		
(一財) 静岡県労働 福祉事業協会	単年度収支	17,141	▲69,072	▲26,277	1,806,099	▲389,984
	経常損益	▲18,565	▲102,638	▲59,291		

(参考) 総括評価を「良好」とした赤字収支の団体（単位：千円）

団体名	単年度収支	経常損益	剰余金	主な赤字の要因
静岡県 道路公社	▲104,492	▲100,675	6,480,404	伊豆スカイライン集中整備(H27～31)に伴う赤字
(公財) 静岡県 産業振興財団	▲152,016	▲152,016	184,334	地域活性化支援事業終了に伴う基金の清算・返還

4 今後の外郭団体の検証

- これまでの点検評価の実施と推進委員会での点検結果の検証により、多くの団体が点検結果を踏まえた継続的な改善に取り組んでいる
- 一方で、取組による十分な改善成果があらわれず、抜本的な改革が必要な状況にある団体も存在する
- 今後は、毎年度の点検評価により団体の課題の把握と継続的な改善の取組の推進を図り、当委員会における検証は、大きな課題のある団体の個別検証を重点的に実施していく